

令和5年度熊本市子ども会育成協議会総会 山本一郎 会長 あいさつ

皆さんこんにちは、

本日は公務ご多忙の中、

熊本市文化市民局 市民生活部長 石坂 強様、生涯学習課長 大石 雄一様にご臨席賜り、心から厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様には、お忙しい中ご参加いただき有り難うございます。

日頃から皆様方は当協議会の活動に深いご理解と多大のご協力を賜り、また、単位子ども会の皆様方は特に、子どもたちの健全育成のために多様な活動をされ、子ども会の発展にご尽力いただいておりますことに対しましても、厚くお礼申し上げます。

三年間に及ぶコロナ感染拡大は第八波となり、日常生活が深刻な影響を受けましたがようやく第五類となり、子ども会活動もやりやすくなりました。

コロナ禍においては市子協は感染防止対策を行いながら今まで予定していた行事を中止とせず、縮小して実施して参りました。単位子ども会におかれましても活動に苦慮されながら、コロナ禍の中でそれぞれ工夫して実施しておられます。昨年四月から本年五月までに単位子ども会からの活動報告は三十三件にのぼり、ホームページに掲載しております。子ども会活動のやり方は数年前とは一変しましたが、そこには新たに様々な工夫が生み出されました。どうぞ、これからもそれらの活動を参考に、子ども会活動に取り組んでいただきたいと思います。本年も、ホームページを活用して、単位子ども会同士、あるいは、単位子ども会と市子協の絆を強め、子ども会活動の活性化のお手伝いが出ればと思います。

さらに、昨年十月に全国子ども会連合会で、国会議員の先生方により「子どもの体験活動による成長・子育てを支援・推進する議員連盟」が設立されました。子ども会活動・体験活動の重要性が改めて国レベルで認識されたもので、子ども会活動の大きな支援になるものと期待しています。

「子どもによる 子どものための 子ども会活動」を理念に、単位子ども会の発展と子どもたちの健やかな成長に寄与することが市子協の使命です。これからもどうぞ気軽に市子協をご利用ください。

新型コロナウイルス感染も収まりつつありますが、皆様お一人おひとりが日頃からその予防に細心の注意を払いつつ、本年も市子協の活動になお一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

本日はあとで、身近な内容の講演とスポーツ用具ボッチャのデモンストレーションを予定しておりますので、有意義な会になる事を期待しております。

最後になりましたが 皆様のご活躍と子ども会の益々の発展を祈念いたしましてごあいさつといたします。

本日は有り難うございました。